

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この商品には、別紙「自転車共通取扱説明書」に加え、特殊な機能、注意事項がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および「専用取扱説明書」（本冊子）の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



お子様が自転車を使う場合は、事前に保護者の方が本書を必ず読んで、正しい乗り方と危険なこと、してはいけないことをよく指導してください。不適切な取り扱いや調整は人身事故につながる危険があります。警告・注意・禁止・強制事項は必ずお守りください。

目次

- 1) セット内容 P1
- 2) 各部のなまえ P1
- 3) 組み立て方法 P2
- 4) かじとりワイヤの取り外し手順 P2~3
- 5) その他の調整 P4
- 6) 長くご愛用いただくためのコツ P5~6
- 7) 故障かな?と思ったら…トラブルシューティング P7~9
- 8) かじとりワイヤの取り外し手順 P10
- 9) 定期点検用チェックリスト P11

1) セット内容 … 必ずご確認ください。

① 自転車本体

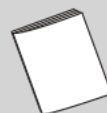
※ハンドル・ペダル・補助輪が外れた状態で梱包されています。



② 押し手棒



③ 「いきなり自転車」専用取扱説明書 (本冊子)



④ 品質保証書付 自転車共通取扱説明書

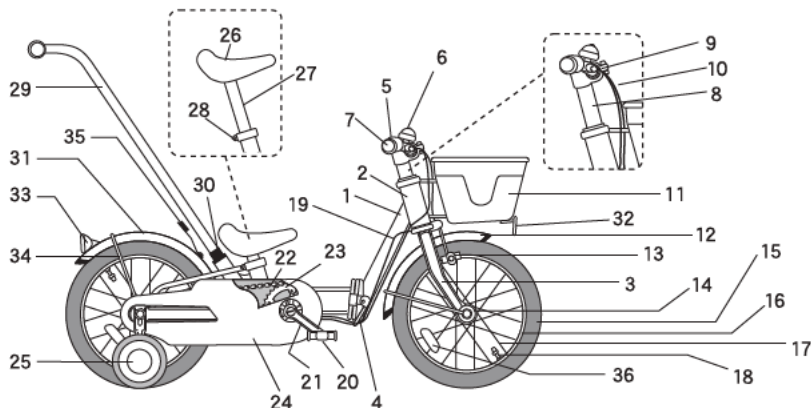


※お買い上げ店舗によって一部組み立てられている場合があります。
※組み立てに必要な工具は付属していません。ホームセンター等でお求めください。
※本商品にカギ・スタンド・ライトは付属されておりません。必要な方は別途ご購入ください。

※商品は、品質向上のための変更や車種の違いにより、写真・イラストと多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

2) 各部のなまえ

No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	フレーム	14	ハブ	27	シートポスト
2	ヘッドチューブ	15	タイヤ	28	シートピン
3	フロントフォーク	16	リム	29	押し手棒
4	折りたたみ部 (折り畳みモデルのみ)	17	スポーク	30	押し手棒差込パイプ
5	ハンドル	18	タイヤバルブ	31	泥よけ (後)
6	ベル	19	かじとりワイヤ	32	フロントリフレクター (ついていないモデルもあります)
7	グリップ	20	ペダル	33	リアリフレクター (ついていないモデルもあります)
8	ハンドルポスト	21	クランク	34	フェンダーステー (ついていないモデルもあります)
9	ブレーキレバー	22	チェーン	35	押し手棒差込パイプキャップ
10	ブレーキワイヤ	23	チェーンリング	36	スポークリフレクター (ついていないモデルもあります)
11	前カゴ	24	チェーンケース		
12	泥よけ (前)	25	補助輪		
13	前ブレーキ	26	サドル		



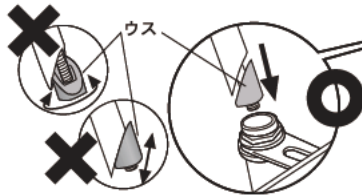
3) 組み立て方法 (お買い上げのお店によって組み立てられている場合があります)

1 箱からとり出し、梱包材をはずします。

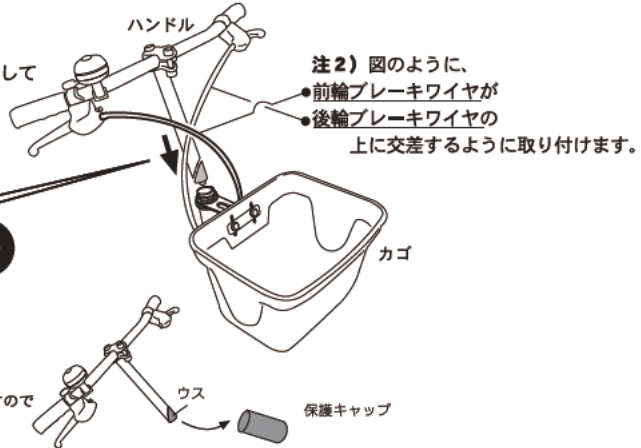
※「折り畳みモデル」の折りたたまれた車体の開き方は、P3の「折りたたみの開閉方法」を参照してください。

2 ハンドルを差し込みます。(固定は、③でサドルとハンドルの調整時に行います)

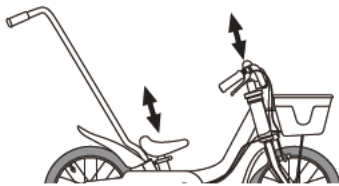
注1) ハンドルポストの先に付いている部品(ウス)を下の図のように正しい位置にして差し込んでください。



※購入時、ウスには保護キャップがついていますので取り外してください。



3 自転車共通取扱説明書P5の説明に従い、体型に合わせてサドルとハンドルの高さを調整し、固定してください。



4 使用状態完成



乗車前には必ず保護者の方が正しく固定されているかを確認してください。



4) かじとりモデル 特有の機能について

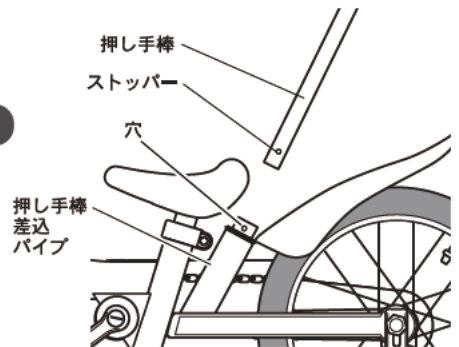
■押し手棒の取り扱い方■

●ストッパーを押し込みながら着脱します。

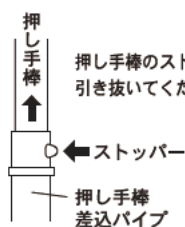
押し手棒を取り付ける時

押し手棒のストッパーを押し込みながら押し手棒差込パイプに差し込みます。ストッパーが穴に差し込まれるとカチッという音とともに差込パイプの穴から出て固定されます。(ストッパーを穴より下に押し込みすぎると、抜けなくなるのでご注意ください)

警告
ストッパーの差込みが不十分だと危険です。しっかりと差込んでストッパーが穴から出ていることを確認してください。



押し手棒を外す時

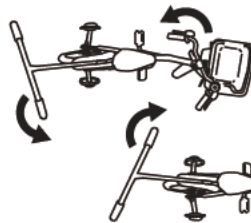


押し手棒のストッパーを押し込みながら引き抜いてください。

←ストッパー
押し手棒差込パイプ

※押し手棒を外した後は、押し手棒差込パイプキャップをはめてください。

かじのとり方



かじとり押し手棒の持ち手を右に振る → 左に曲がる

かじとり押し手棒の持ち手を左に振る → 右に曲がる

※構造上、かじとり押し手棒の可動範囲は、左右で若干異なる場合があります。左右それぞれ30°以上可動すれば正常です。

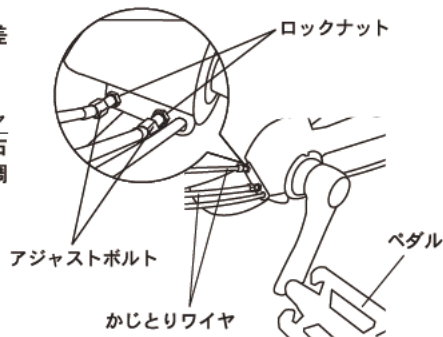
■かじとりの調整方法■

●長い間使っているとワイヤが伸びて、かじとり押し手棒とハンドルの動きの誤差（あそび）が大きくなり、扱いにくくなってきます。快適にお使いいただくため、調整してください。

①ロックナットをゆるめます（左まわし）。②左右かじとりワイヤ共に、アジャストボルトを左にまわすと、かじをとったときのあそびが少なくなります。左右バランスよく、かじとり操作を確かめながら、購入時程度のあそびになるよう調整してください。③調整後はロックナットを締めて（右まわし）ください。



アジャストボルトをゆるめすぎないでください。
かじとりのあそびが少なすぎると、かじとりワイヤが常に張った状態になり、切れやすくなります。

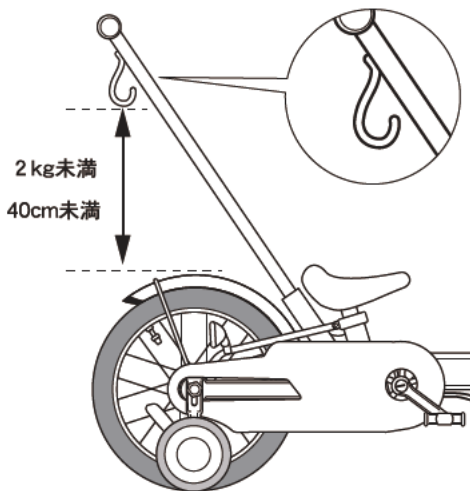


※かじとりワイヤは消耗品です。

過度な負荷がかかると極端に寿命が短くなる恐れがあります。
(詳しくはP5の注意をよくお読みください。)

■押し手棒フックの取り扱いについて■

●押し手棒についているフックは、お子様のヘルメット等の軽量で小さい荷物をかけるためのものです。大きく重い荷物をかけないでください。



積載重量 2kg未満／吊り下げた時の全長40cm未満



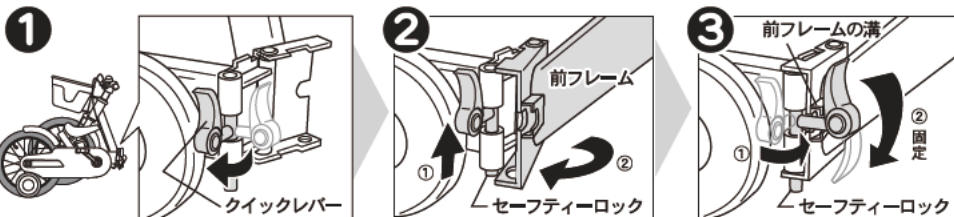
フックに2kg以上のもの、または全長40cm以上のものをかけると、故障や自転車の転倒につながり、大変危険ですのでおやめください。



お子様が自分で運転できるようになったら必ず押し手棒とかじとりワイヤを取り外してください。フックに荷物をかけたまま、もしくは押し手棒を付けたままお子様に運転させないでください。

■折りたたみの開閉方法■（「折り畳みモデル」のみ）

●以下の手順で折りたたまれた車体を開いてください。



折りたたみ部のクイックレバーを外側に回します。

クイックレバーを上へ引き上げた状態で前後のフレームをまっすぐにつなげます。クイックレバーを下げ、セーフティロックをかけます。

図のようにクイックレバーを回転させて前フレームの溝にひっかけます。クイックレバーを下向きに締めて確実に固定してください。

●折りたたむ際は、左記の逆の手順で行なってください。

※折りたたむ前には必ず、押し手棒を取り外してください。押し手棒の外し方はP2「押し手棒の取り扱い方」をご覧ください。

5) その他の調整方法

■補助輪の調整・着脱■

- 補助輪を着脱する時には、右記のどちらかの工具が必要です。ご用意ください。

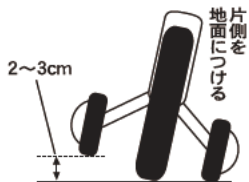


スパナ



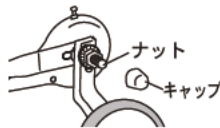
モンキーレンチ

補助輪の調整方法



補助輪は、片側の補助輪を地面につけた時に、もう一方が地面から2~3センチ浮いているのが正常な取り付け位置です。地面についている場合や、左右の高さが異なっている場合は調整してください。

【調整方法】



キャップをはずし、ナットをゆるめてください。補助輪が上下にスライドして高さを調整できるようになります。調整後はナットを締めて補助輪にガタ付きがない事を確認しキャップを締めてください。

補助輪の着脱

- 補助輪の着脱は自転車店等でご相談ください（有料の場合があります）。

スタンドの取り付け

- 補助輪を外した後、スタンドが必要な時は、自転車店等でご購入・取り付けを行ってください（取り付けは有料の場合があります）。

■ライトについて■

※ライトは、ハンドルに取り付ける前照灯タイプのもをお買い求めください。
※形状によっては取り付けられないものもありますので、購入時に自転車店にご相談ください。

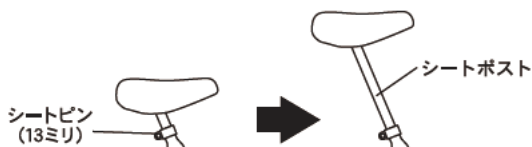
本商品にはライトが付属していないため、将来補助輪を外し、夜間及び暗い所を走行する時は、必ずライトを装備し、点灯するようにしてください。

■サドル・ハンドルの調整■

この商品は、お子様に長く快適に乗り続けていただくため、ハンドルとサドルに特別な調整が必要です。

サドルの高さ調整

- 両方の足先が確実に地面につくように調整してください。



※サドルの固定方法については「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。



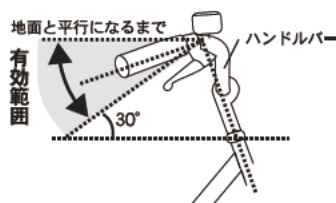
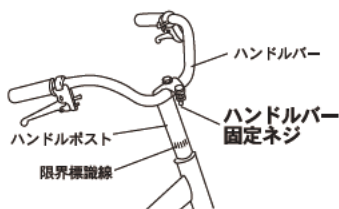
- シートポストは限界標識線が見える所で固定しないでください。（自転車共通取扱説明書P2 参照）
- ボルトの固定が不十分だと危険です。しっかり固定してください。

	適正身長	サドル地上高さ
12インチ	約 82 cm (2歳)	約 34 cm
	約115 cm (6歳)	最大まで伸ばす
14インチ	約 83 cm (2歳)	約 34 cm
	約115 cm (6歳)	最大まで伸ばす
16インチ	約 93 cm (3歳)	約 38 cm
	約120cm (8歳)	最大まで伸ばす

ハンドルの調整

まだ体の小さいお子様は以下の調整方法を参考に、ハンドルの角度を「地面に対して約30°」になるよう調整してください。また、お子様の体格の変化に合わせて、地面と平行になるまで適宜角度調整をしてください。

ハンドルバー固定ネジを緩め、ハンドルバーの角度を有効範囲内で調整してください。調整後、固定ネジを元通りしっかり締め固定します。



※ハンドルの「高さ」調整については「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。

※ハンドルバー固定ネジを調整する際、ハンドルポストを限界まで伸ばした状態で行なうと作業がしやすくなります。

※有効範囲外の角度で固定すると、ハンドル操作が難しくなりブレーキも効かなくなる恐れがある為危険です。必ず有効範囲内で調整してください。

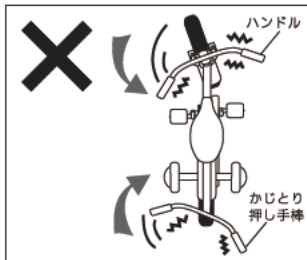
6) 長くご愛用いただくためのコツ

●かじとり機構について

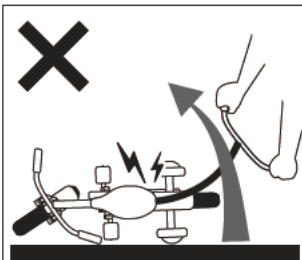
**「かじとり機構」は、まだ1人でハンドル操作ができない、
小さなお子様のために考案されています。**

かじとり機構は、まだ1人でハンドル操作ができない2～3歳のお子様から、1人で運転できるようになるまでの補助用につくられています。保護者の方は以下の点に注意してお使いください。

① ワイヤに過度の負荷がかかり、切れてしまう恐れがあるため、 以下のような使い方はしないでください。



●お様がハンドルを強く切っている時に、かじとり押し手棒で無理やり逆方向にかじをきらないでください。



●倒れた車体を起こすために、かじとり押し手棒で起こさないでください。



●補助輪を外す練習をする時に、かじとり押し手棒を使わないでください。



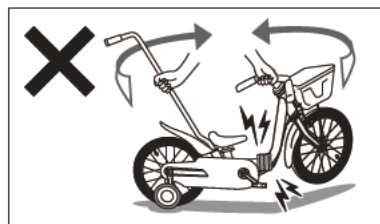
●かじとり押し手棒のフック以外に荷物をかけないでください。

② かじとり押し手棒が荷重で曲がってしまいます。 お子様を乗せたまま、車体を持ち上げるために、 かじとり押し手棒をてこに使わないでください。



③ 折りたたむ際に、かじとり押し手棒をつかんで 折りたたまないでください。 (「折り畳みモデル」のみ)

かじとりワイヤがずれて、かじがとれなくなる恐れがあります。



④ 定期点検を必ず受けて安全な状態を保つようにしてください。

⑤ お子様で自分で運転できるようになったら、 必ず「かじとりワイヤ」・「押し手棒」を取り外してください。

ハンドル操作から過度な負荷がかじとりワイヤにかかって消耗し、切れた「かじとりワイヤ」で怪我をする恐れがあります。

※かじとりワイヤの取り外しはお近くの自転車店(有料)で行なうか、ご自分で取り外される場合はP10「8」かじとりワイヤの取り外し手順をご参照ください。

※押し手棒の取り外しはP2「4」かじとりモデル特有の機能についてをご参照の上、行ってください。

※かじとり押し手棒を取り外しただけでは、かじとりワイヤは外れません。

※ワイヤは消耗品です。過度な負荷がかかると、極端に寿命が短くなる恐れがあります。

● 日常の保管とお手入れについて

1 保管場所 ----- 長く、きれいに乗っていただくために。

● **屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。1週間に一度はカバーを外して中の湿気を取ってください。**



錆びやすい場所（雨のかかるところ・海岸付近・浄化槽付近・湿気の多いところ・工事現場や金属加工場の近く）での保管はお止めください。



こんなことも錆びの原因になってしまいます。 [・サイクルカバーをかけっぱなしにする。
・焚き火の煙がかかる。
・ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。]



直射日光や高温になる場所での保管は、変色の原因になってしまいますのでお止めください。

2 簡単にできるメンテナンス

-----1ヶ月に一度程度行うことで、更に快適に、長くお使いいただけます。

● **塗装部（フレーム、チェーンケース）のお手入れ -----**

乾いた布でよくふき、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。

● **メッキ部（ハンドル・サドルポスト・スポーク等）のお手入れ -----**

乾いた布で汚れをふき取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

● **錆びやすい場所（上記①保管場所参照）に置く場合は、お手入れの回数を 2週間に一度程度に増やしてください。**

● **雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気を取り、よく乾燥させた後、自転車共通取扱説明書「6）お手入れと保管」をご参照の上、注油してください。**



傷がつくと特に錆び易くなります。お手入れの回数を2週間に一度程度に増やしてください。

3 重大な故障になる前の点検チェック

● **ブレーキはきちんと作動しますか？**

ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。




● **かじとり押し手棒の誤差（あそび）は大きくなっていませんか？**

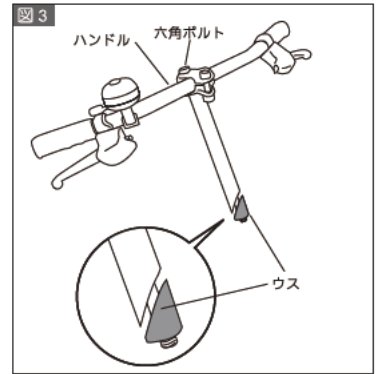
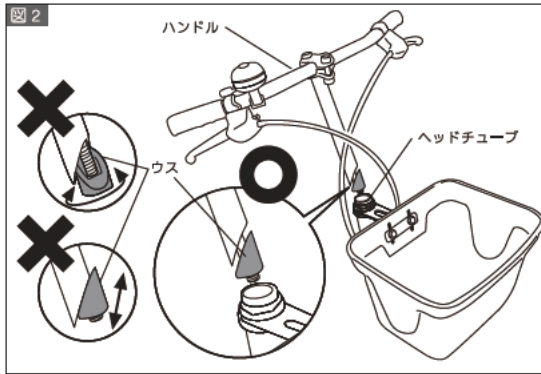
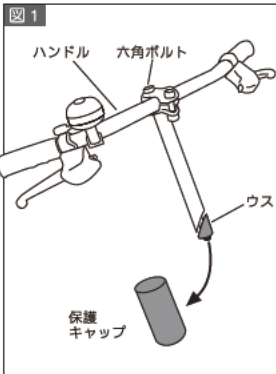
ご使用を続けていると、かじとり押し手棒とハンドルをつなぐ“かじとりワイヤ”は少しずつ伸びて、かじとり押し手棒の操作に対するハンドルの動きの誤差（あそび）が大きくなり、扱いにくくなっていきます。P2「4）かじとりモデル特有の機能について」をご参照の上、調整してください。

7) 故障かな?と思ったら…トラブルシューティング


※お店にお問い合わせになる前に点検してください。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店様にご相談ください。

●組み立てについて

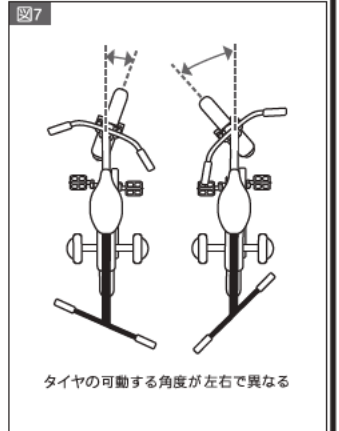
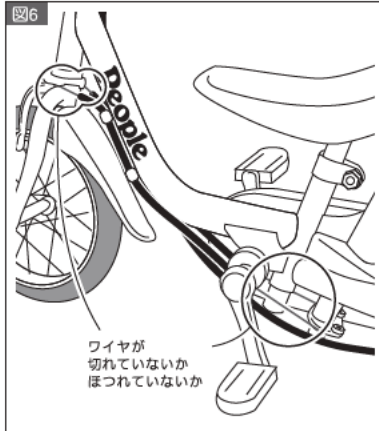
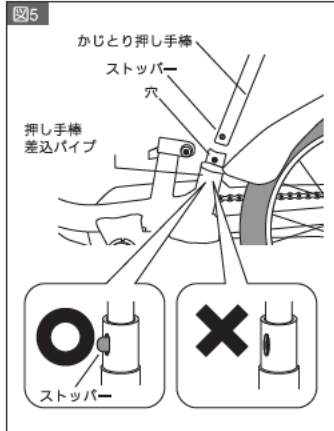
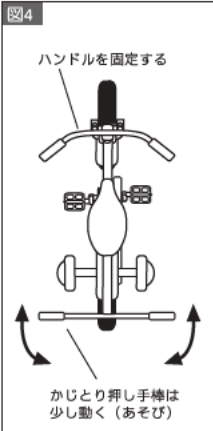
症状	チェック項目	判定	対処方法
① ハンドルを ヘッドチューブに 差し込めない	ハンドルポスト先端の保護 キャップは外しましたか? 		
	保護キャップがついた ままになっていた。 → 保護キャップを外してからヘッドチューブに差 し込んでください。 ----- 保護キャップは外した。 ↓ さらにチェック! ウスは正しい位置にありますか? 	ウスが正しい位置にないと組み立てられません。 本冊子の「3) 組み立て方法」をもう一度良くお読 みの上、再度組み立てを行ってください。	
② ハンドルを固定する 六角ボルトを締めこんでも、 ハンドルが固定できない	ハンドルポストの先端に ウスは付いていますか? 	六角ボルトを緩めすぎて、 ウスが車体内部に落ち込ん でいる可能性があります。	車体をさかさまにしてウスを取り出し、ハンドル ポストに取り付けて、本冊子の「3) 組み立て方 法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを 行ってください。



●かじとり押し手棒について

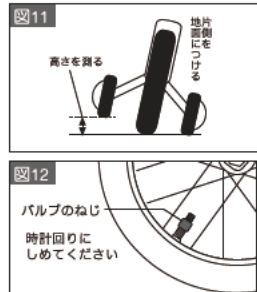
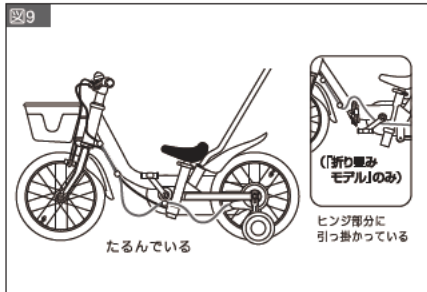
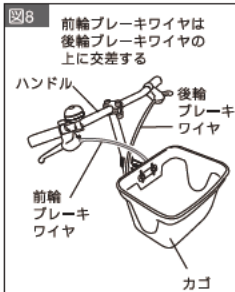
症状	チェック項目	判定	対処方法
① かじとり操作が固い	お買い上げ後のご使用期間は?		
	お買い上げいただいた直後 (一週間以内のご使用) の場合 → 問題ありません。 ----- お買い上げ後、一週間以上 ご使用されている場合 → かじとりワイヤが締まりすぎ ている可能性があります。	工場出荷時は、操作が固めになるよう組み立て られています。ご使用いただいているうちに、 ワイヤが伸びて、適度な固さになります。	
② かじとり操作に対し、 ハンドルの反応に誤差 (あそび) がある	どのくらいの誤差(あそび)が ありますか? 		
	こぶし一つ程度の誤差 (あそび) の場合 → 問題ありません。		押し手棒の差し込み易さのため、操作にあそびが できるよう設計されています。
	こぶし一つ以上の大きな 誤差(あそび) の場合 ↓ さらにチェック!		
	お買い上げ後のご使用期間は?		
お買い上げいただいた直後 (一週間以内のご使用) の場合 → お買い上げ店様にご相談ください。 ----- お買い上げ後、一週間以上 ご使用されている場合 → かじとりワイヤがご使用の 間に伸び、調整が狂ってい る可能性があります。	P2「4) かじとりモデル特有の機能について」 をご参照の上、調整してください。		

症状	チェック項目	判定	対処方法
③ かじとり押し手棒で かじがとれなくなった	かじとり押し手棒のストッパーが穴から出ているかご確認ください。 図5 ↳ ストッパーが穴から出ていない。 → ↳ ストッパーが穴から出ている。 → さらにチェック!	↳ ストッパーが出ていないと かじとり操作はできません。	P2「4」かじとりモデル特有の機能について」をご参照の上、かじとり押し手棒を取り付け直してください。
	かじとりワイヤが切れていないか、ご確認ください。 図6 図6の4ヶ所のワイヤ（銀色部分）が切れていないか、ほつれていないか目視してください。 ※切れたワイヤで手を傷つけないようご注意ください。 ↳ かじとりワイヤが切れている。または、ほつれている。 → ↳ かじとりワイヤが切れていない。 →	↳ お買い上げ店様にご相談の上、修理してください。その際、弊社ホームページ内の「製品サポート」ページの最下部にある「かじとりワイヤ交換方法説明書」に記載されたかじとりワイヤの交換手順をプリントアウトしてお持ちいただくかスムーズに作業していただけます。 ※プリントができない場合は、ビープルお客様相談係 ☎03-3862-3739までご連絡ください。	
④ タイヤの可動する角度が 左右で異なる	可動する角度が少ない側の、可動角度は？ ↳ 30° 以上の場合 → 図7 ↳ 30° 以下の場合 → さらにチェック!	↳ 機能上、ご使用いただくために問題は起こりません。	↳ どうしても気になる場合は、P2「4」かじとりモデル特有の機能について」をご参照の上、調整してください。
	お買い上げ後のご使用期間は？ ↳ お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）の場合 → ↳ お買い上げ後、一週間以上ご使用されている場合 →		
		↳ かじとりワイヤがご使用の間に伸び、調整が狂っている可能性があります。	↳ P2「4」かじとりモデル特有の機能について」をご参照の上、調整してください。



●その他

症状	チェック項目	判定	対処方法
① 後輪から「キーキー」音がする	<p>ハンドルまわりのブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。 図8</p> <p>ブレーキワイヤの配置が正常でない。 →</p> <p>ブレーキワイヤの配置が正常。</p> <p style="text-align: center;">↓ さらにチェック!</p>	<p>ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。</p>	<p>P2の「3」組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度ハンドルの組み立てを行ってください。</p>
	<p>車体のブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。 図9</p> <p>ブレーキワイヤの配置が正常でない。 →</p> <p>ブレーキワイヤの配置が正常。</p> <p style="text-align: center;">↓ さらにチェック!</p>	<p>図9のように車体を通るブレーキワイヤがたるんだ状態になると、ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。</p>	
	<p>お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）ですか？</p> <p>一週間以内のご使用の場合。 →</p> <p>お買い上げいただいて一週間以上使用の場合。</p> <p style="text-align: center;">↓ さらにチェック!</p>	<p>ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間に、少しずつワイヤが伸びていきます。（「初期伸び」と言われる全てのワイヤが持つ性質で、<u>不良ではありません。</u>）ブレーキワイヤはあらかじめ少しきつめに引っ張られた状態で製造されており、そのせいで常にブレーキが少しかかった状態になっている可能性があります。</p>	<p>初期伸びをわざと起こさせるため、ブレーキレバーを両手で強く、10回程度握ってください。 改善されない場合は下記のチェック項目へお進みください。</p>
	<p>乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。</p> <p>キーキー音がなくなった。 →</p> <p>キーキー音がなくならない。 →</p>	<p>雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキがこすれ、音が発生することがあります。湿気がとれと解消されますので、乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。</p>	<p>お買い上げ店様にご相談ください。</p>
② 補助輪が地面から浮いている	<p>片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から浮いている高さを測ってください。 図11</p> <p>2～3 cm浮いている。 →</p> <p>4 cm以上浮いている、または両補助輪とも地面についている。 →</p>	<p>正常な状態です。</p> <p>片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から2～3 cm浮いているのが正常な状態です。補助輪が浮きすぎているのも、<u>2つの補助輪が接地しているのも調整不良</u>です。（カーブを曲がりにくくなり、危険です。）</p>	<p>P4「5」その他の調整方法」をご参照の上、調整してください。</p>
③ 前輪リムが黒く汚れている	<p>→ 正常です。</p>	<p>前輪リムは、ブレーキゴムが接触してブレーキを動作させる役割があるため、ご使用いただくと必ず黒く汚れます。汚れが気になる場合は、市販の「ブレーキクリーナー」をお使いいただくと、比較的きれいに掃除できます。ブレーキクリーナーは自動車用品店や自転車店、ホームセンターでお求めいただけます。</p>	
④ パンクかな？と思ったら	<p>「バルブ」のねじを確認してください。 図12</p> <p>バルブのねじが緩んでいる場合。 →</p> <p>バルブのねじが緩んでいない場合。</p> <p style="text-align: center;">↓ さらにチェック!</p> <p>タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。</p> <p>空気が抜けてしまう場合。 →</p>	<p>緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、パンクではありません。</p> <p>チューブに穴があいてパンクしていると思われます。</p>	<p>バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。</p> <p>お買い上げ店様にご相談ください。（お客様の責任によるパンクの場合は有料になります。）</p>



8) かじとりワイヤの取り外し手順

※ここでは、お様が「かじとり機能」を使わずに一人で乗れるようになった際、安全のため、かじとり機能を取り去るための「かじとりワイヤ」の取り外し方を説明します。



お様が自分で運転できるようになったら、必ず「かじとりワイヤ」を下記手順で取り外してください。ハンドル操作から過度な負荷が「かじとりワイヤ」にかかって消耗し、切れた「かじとりワイヤ」でケガをする恐れがあります。

【注意】ワイヤの端やほつれた部分は尖っていて危険です。手を触れないように注意して作業してください。

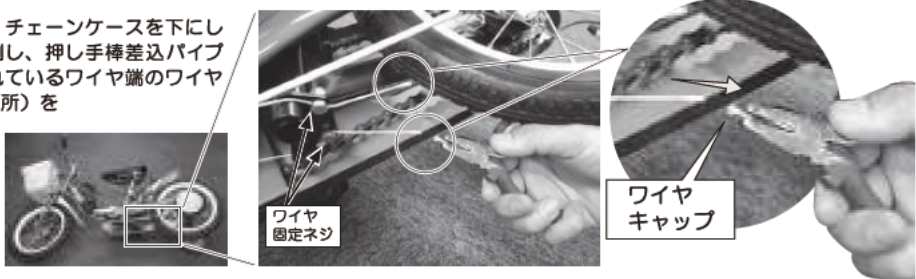
前側の固定ネジを外す

- 1** カゴの裏にあるワイヤ固定ネジのナットを完全にゆるめ、ナット・ワッシャを取り外し、ワイヤ固定ネジを台座の穴から抜いておきます。(ネジはワイヤからはまだ取り外せません)



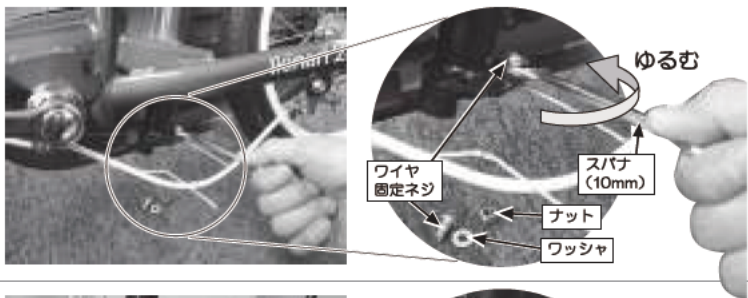
ワイヤキャップを取り外す

- 2** 写真のように、チェーンケースを下にして車体を横に倒し、押し手棒差込パイプの下に留められているワイヤ端のワイヤキャップ（2箇所）をプライヤ（ペンチ）等で引っ掛けて取り外します。



後側の固定ネジを取り外す

- 3** 10mm のスパナで押し手棒差込パイプの下にあるワイヤ固定ネジ（2箇所）のナットを完全にゆるめ、ナット・ワッシャ・ワイヤ固定ネジ（各2個）を取り外します。



ワイヤを引き抜く

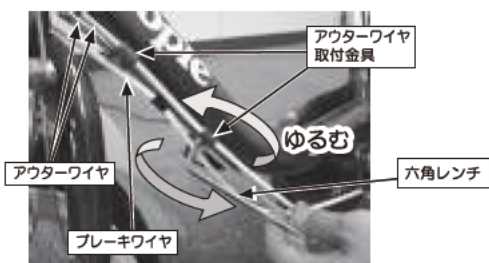
- 4** 車体を起こし、前カゴの裏からかじとりワイヤを引き出して、最後まで完全に抜き取ってください。「1」でゆるめたワイヤ固定ネジも、ここでワイヤと一緒に取り外してしまいます。



取付金具とアウターワイヤを取り去る

- 5** フレームの「People」ロゴの下にあるアウターワイヤ取付金具（2箇所）を六角レンチを使って取り外し、アウターワイヤ 2 本（かじとりワイヤを引き抜いた後に残った柔らかいパイプ）も取り外してください。

※すぐそばに同じ色のブレーキワイヤがあります。間違えないようにご注意ください。



【もう一度、かじとり機構を取り付けたときは…】

●取り付けは、お近くの自転車店で行ってください（有料）。

●一度取り外した「かじとりワイヤ（金属製のワイヤとワイヤキャップ）」の再利用はできません。自転車店で「ブレーキワイヤ」をお求めの上、代用してください。

9) 定期点検用チェックリスト

- ご購入後2ヶ月以内に1回目を、その後1年ごとに実施して下さい。
- 点検・整備はお早めに自転車店等に依頼されることをおすすめします。(有料)

点検項目		2ヶ月以内 初期点検	1年ごと	1年ごと	1年ごと	1年ごと
		年 月	年 月	年 月	年 月	年 月
①	体格に合った調整がされているか。					
	●サドルにまたがって両足先が地面に届くか。					
	●ハンドルの高さは適当か。					
②	以下の部分は確実に固定できるか。					
	●ハンドルにガタつき、ゆるみはないか。					
	●サドルにガタつき、ゆるみはないか。					
	●かじとり押し手棒にガタつき、ゆるみはないか。					
	●折りたたみ部にガタつき、ゆるみはないか。(折り畳みモデルのみ)					
③	フレーム・フロントフォークに変形や亀裂などはないか。					
④	ヘッド・ハンガー小物にガタ・磨耗はないか。					
⑤	ブレーキゴム類の消耗品はすり減っていないか。					
⑥	ブレーキレバーの間隔は正常か。前後のブレーキはよく効くか。					
⑦	補助輪は正しい位置にしっかり固定されているか。					
⑧	車輪のぶれ、スポークのゆるみ・曲がり、軸部のガタつきはないか。					
⑨	チェーンのたるみ・張りは適正か。					
⑩	タイヤの空気圧は適正か。すり減っていないか。外観に異常はないか。					
⑪	クランクに曲がりはないか。チェーンリングは滑らかに回転し、ガタはないか。					
⑫	ペダルは回転するか。ガタつき、異音はないか。					
⑬	ペダルとクランクは直角になっているか。					
⑭	ベルはよく鳴るか。ゆるんでいないか。					
⑮	泥よけ、前カゴはしっかりと取り付けられているか。					
⑯	クイックレバー(折り畳みモデルのみ)やネジのゆるみ、脱落箇所はないか。					
⑰	フリーホイールの回転と注油はよいか。					
⑱	チェーンケースの形状と取り付けはよいか。					
⑲	かじとりワイヤにゆるみとほつれはないか。					
定期点検・調整を実施した専門店ならびに年月日		印	印	印	印	印
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

※ 点検時期以外であっても異常を感じた場合は上記の点検を実施して調整・修理して下さい。

People 発売元 ピープル株式会社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-15-5 VORT東日本橋

●商品のお問い合わせはお客様相談係まで TEL 03 (3862) 3739 ※電話受付時間：月～金（祝日を除く）10:00～12:00・13:00～16:00
FAX 03 (3862) 3730

●ピープルホームページ……<https://www.people-kk.co.jp/>

生産物賠償責任保険付